

「社会」にでるための最強の教科！社会学習のポイント！

今、あなたはこの世に生まれ、気づいたら砂漠に立っていました。
さて、まず、何を考えるか・・・。

- ①ここはドコ？
- ②どうして私はここにいるの？
- ③これからどうすればいいの？

という3つの問いが浮かぶのではないのでしょうか。

実は、この3つの問いに答えることが出来る教科が社会科の3分野なのです。



「ここはドコ？」⇒自分の世界はどんなところかを知っておくこと（地理）

「どうして私はここにいるの？」⇒過去の歴史をひも解いていくこと（歴史）

「これからどうすればいいの？」⇒この世界のしくみを知り、考えること（公民）

あなたがこれから大人になって出ていく「社会」は「砂漠」のように未知でどちらに向かって歩いていけばいいかわからなくなるようなところです。社会科は、これから「社会」にでるみんなが力強く歩いていくために必要な力をつけることのできる最強の教科なんですよ！

社会上達のための3つの力



- ①知る力
- ②わけを説明できる力
- ③考える力

①知る力！

世の中は知らないことだらけ。どんなことにも興味をもって「知りたい！」と思うことで、授業をしっかりと聞くことができます。「知りたい！聞きたい！」という気持ちの持ち方で自分の世界が広がりますよ。

②わけを説明できる力！

学んだ知識を単語としてただ暗記するとなると社会科は膨大な量の語句を覚えなければいけません。そんなことは不可能です。しかし、学んだ知識から「なぜ？」「どうしてそうなの？」と疑問をもち、そのわけを自分で説明できるようになれば、自然と頭の中にインプットされます。説明が自分でできるようになるような授業をうける姿勢が大切です。

③「どうすればいい？自分ならこうする！」と考える力！

学んだ知識の中で「自分とのつながり」を考えることが大切です。世界や日本は自分とどのようにつながっているのか（地理）、過去の歴史は現在を生きる自分とどうつながっているのか（歴史）、社会の仕組みは中学生の自分とどうつながっているのか（公民）。この問いには、教科書や参考書に答えはのっていません。授業の中で、自分の中で自分だけの答えを、考え見つけ出していくことが大切です。

社会科は家で何をすればいいの？先生方からアドバイス！

初級編



①授業の内容をそのままノートにうつす！（復習）

授業でなかったことを思い出しながら自主勉強ノートにうつす。先生が話していた言葉やクラスの子が発表していた内容も一緒にうつすことができるばより good！そんな簡単なことで OK です。

大切なことはその日にならったことをその日のうちに復習すること。「1 週間分まとめて土日にやる」は効果的ではありません。また、テスト前だけに、まとめて覚えるが一番効果がありません。そのようにして覚えた内容は、すぐに頭の中から消え去ってしまいます。社会科の授業は週 3 日か 4 日。授業があったその日のうちに復習する。自分が先生になったつもりで、授業をイメージしながらノートにまとめることで頭の中に長く深く内容が残りますよ！

②教科書を読んでくる！（予習）

①の復習が終わったら、次の授業で習うところの教科書を読みます。教科書はもっとも短い言葉でわかりやすく説明してある本なので、見開き 1 ページ分をしっかりと読んでから授業を受けると、頭の中ですらすらと内容が入ってきますよ！また、教科書に書いてあることに疑問をもちながら授業を受けると「知りたい！」という興味がわき、授業に前向きに取り組めます。

上級編

③問題を自分でつくる！自分オリジナルの問題をつくろう！

たとえば「聖徳太子」が答えとなるような問題を作ってみてください。問題をつくることができるということは、「聖徳太子」を自分の言葉で説明できるということです。社会科は重要語句を暗記するだけでは、定期テストでは点数がとれても、すぐにまた忘れてしまいます。問題文をつくるということは、その語句を説明できる力もつきますし、何が大切なのかポイントをしっかりとつかめているということです。

自分オリジナルの問題集ができあがれば、テスト前に見返すと復習がしっかりできますよ！

社会科は最強の教科です！

社会科の勉強を通して、これからの人生に役立つ力をつけよう！